SAKURA

The tip of an

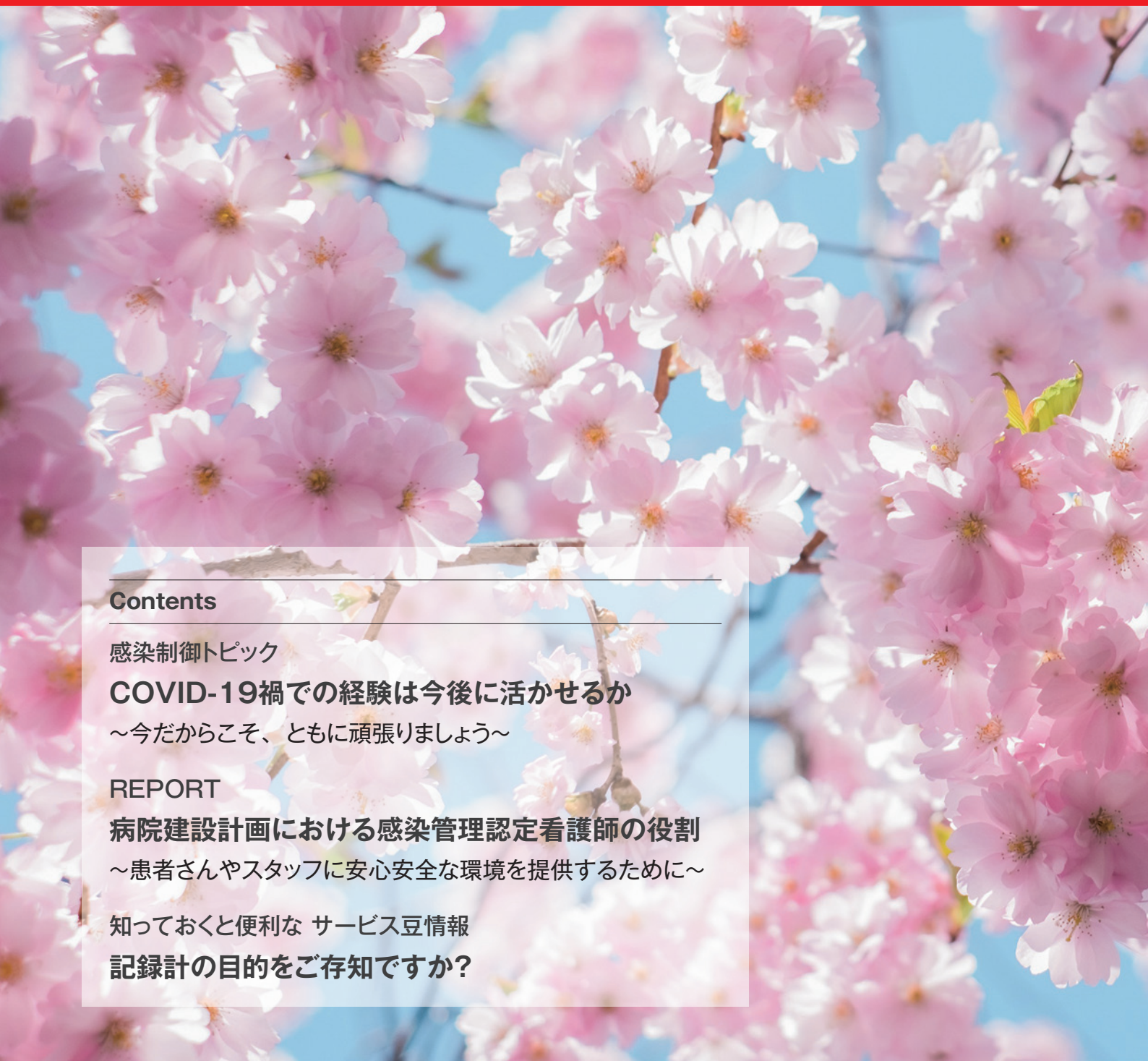
ICeberg

アイシーバーグ
サクラニューズレター

No.19

The tip of an ICeberg＝氷山の一角
感染制御は見える部分だけでなく、見えない部分に多くの課題があることの象徴です

Serving Global Healthcare with Sakura Tradition and Innovation



Contents

感染制御トピック
COVID-19禍での経験は今後に活かせるか
～今だからこそ、ともに頑張りましょう～

REPORT
病院建設計画における感染管理認定看護師の役割
～患者さんやスタッフに安心安全な環境を提供するために～

知っておくと便利な サービス豆情報
記録計の目的をご存知ですか?

感染制御トピック

COVID-19 禍での経験は今後に活かせるか

～今だからこそ、ともに頑張りましょう～

神戸女子大学　看護学部長
洪愛子

2019年12月に届いた原因不明の肺炎患者発生の一報、その1カ月後にはWHO（世界保健機関）が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言しました。

そして今年の春、各地域からの便りで変わらぬ桜の美しさは心安らぐひとときでしたが、花見は自粛のまま、COVID-19のパンデミックはすでに1年4カ月におよんでいます。終息がいつになるか方向性が見えないまま、未だ世界中を震撼させつづけるCOVID-19に仕事も日常生活も大きく変化しました。

長期間におよぶパンデミックがもたらしたポジティブな変化のひとつは、誰もが標準予防策の重要性を確認し、医療者のみならず一般の方も手指衛生やユニバーサルマスクといった基本が身につきました。花粉症対策でマスク装着が日常生活に溶け込んでいた日本と異なり、ひどい呼吸器症状がなければマスクを使用しない欧米でもマスクは手放せないアイテムと変化しました。かつて、その徹底に頭を悩ませていた感染対策担当者にとっては、電車に乗っても飛行機に乗っても繰り返される感染対策徹底のアナウンスは、感動すら覚えます。医療従事者、中でも特に看護師さんが自分たちを守ってくれると絶大なる信頼感を寄せる人も少なくありません。今ほど感染対策への関心が高まったこと、そして感染対策が徹底されたことは、なかったでしょう。

願うのは、感染対策の基本が一過性ではなく、日常に定着して欲しいということです。感染対策が人間の健康と生命の根源だということ、社会経済活動の根幹にあるということを、今後も忘れず続けていくことです。

感染制御/感染管理に関心を持っていること、見識があることを控えめにしていた医療従事者が、黒子の存在から一転して脚光を浴びています。専門性を有していても、役割を担う環境が得られないと地道な努力を重ねていた看護師が、機会を得て困難な課題に持てる力を結集し、チームメンバーとしてあるいはチームリーダとして、誰も経験したことのないCOVID-19感染拡大予防に邁進しています。教え子の認定看護師は、「しんどいけれど仕事がこれまでで一番楽しい」と、目を輝かせていました。また、日々の対策と課題に追われ、バーンアウトしないで仕事が続けられたのは、仕事以外に大学院での研究活動があったからと言う大学院生もいました。

臨床や現場で期待に応えようと頑張りすぎて、責任感を一人で背負ってしまっていないでしょうか。特にこのような状況においては、一人でできることには限界があります。共に考え、悩み、行動する仲間、そして支えてくれる人は周りにいますか。COVID-19は個々の強さと弱さを教えてくれました。

そして、何より、自身のケアも忘れずに健康を最優先してくれることを願います。

この時代に生きる私たち皆が、経験から学び、今後に活かせるよう、次の世代につなげるよう、自らも努力しつつ、奔走する看護師らを支えたいと思っています。

今だからこそ、ともに頑張りましょう。

REPORT

病院建設計画における感染管理認定看護師の役割

～患者さんやスタッフに安心安全な環境を提供するために～

社会医療法人潤心会　熊本セントラル病院　感染管理師長
感染管理認定看護師　川辺雅美

当院は1987年に開設して以来、菊池郡市・南阿蘇の中核病院として地域に根差した急性期・救急医療を提供してきました。しかし、病院建物の老朽化や、2016年4月に発生した熊本地震による被災から生じた耐震性の問題に直面し、「患者さんやスタッフに安心安全な療養環境と職場環境を提供したい」という強い思いから、建て替えの計画が始まりました。そこで私は感染管理認定看護師として「感染対策を充実させることができる病院建設計画」というミッションに取り組みました。

最も力を入れて取り組んだのは、「マセレーター導入計画」です。以前から、便・尿器の洗浄業務は、私の苦手な業務の一つでした。単に汚いから苦手であるというわけではなく、洗浄消毒の効果が不明瞭で、懸念を抱く業務だったからです。そこで、便・尿器の洗浄消毒を必要としないマセレーターを導入したいと強く思いました。

まず、マセレーターがどのような器械なのかを職員に説明し、反応を確認しました。看護・介護業務に関わる職員に、マセレーターの魅力を伝えるにあたり、多くの言葉は必要ありませんでした。「排泄物とともに便・尿器を粉砕して水と一緒に流す器械」というだけで「夢のような器械」と評価され、この評価は私が導入に向けて動き出す大きな力となりました。

導入に際し、マセレーターのデメリットとされるコストに係る検討を始めました。そこで、すでにマセレーターを導入されていた病院を事務長・看護部長とともに訪問し、コストに関する説明を受けました。実際に設備を見学して、汚物処理室特有の匂いがほとんどないこと、職員への業務負担が激減すること、感染拡大リスクが軽減できることを実感しました。もちろんランニングコストは生じるのですが、そのコストを支払うだけの費用対効果があると確信し、導入が決定しました。また、導入決定当初、マセレーターは病棟にのみ設置する予定でした。しかし、建設計画期間中に新型コロナウイルスパンデミックが発生したことにより、感染リスクが高い救急外来や外来処置室にも必要と判断され、ついには全館導入が決定しました。

病棟汚物室で使用の様子

運用に際し、サクラ精機株式会社の担当の方に、病院移転前に全看護・介護職員に操作方法を伝達していただきました。さらに、移転日から複数日、院内に常駐対応していただき、目立った混乱はありませんでした。運用開始後、夜間の作動音に対する不満の声や、「トイレを利用した尿量測定はできないか?」との声が上がりましたが、その都度問題解決のために、さまざまなご提案をいただいております。

外来処置室に追加導入のマセレーター

現在、汚物処理室の臭いは全くなく、看護・介護業務に関わる職員からは「便・尿器を洗浄しなければならない病院ではもう働きたくない」との声まで上がっています。また、マセレーター運用直後、コスト面を考慮し、パルプ容器の費用の一部を、患者さんにご負担頂く案が持ち上がりました。しかし、このランニングコストはあくまで「感染拡大リスク軽減と看護介護業務負担軽減への対価」であるとし、全額病院が負担することとなりました。今後、マセレーター導入施設が増え、パルプ容器の単価が下がることが私の望みです。

感染管理認定看護師として病院建設計画に立ち会えたことは、苦労も多くありましたが、本当に有意義な経験でした。そして、新型コロナウイルスが世界的に感染拡大していたことで、病院建設計画において感染対策が重要視されるチャンスとなり、マセレーター導入以外にも、私の多くの提案が採用されました。旧病院で苦労して行っていた業務が簡略化され、負担が軽減されたスタッフを目にすると、報われた気持ちになります。

新型コロナウイルス感染の収束の目途は立っていません。今後、私が取り組む課題は、その設備を十分に活かして活躍できる職員の育成・教育であると考えております。

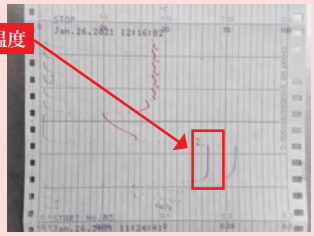
知っておくと便利な
サービス豆情報

記録計の目的をご存知ですか?

滅菌装置には記録計と呼ばれる部品が付いています。どの様な目的で付いているか、あるとなぜ便利かご存知でしょうか? 装置の外側からは見えませんが、内部に温度や圧力を検知するセンサーがあります。そのセンサーが検知した運転中の温度や圧力の値が用紙に打点され、グラフの様に記録が残ります。記録紙に残るチャートを通じて「正常に装置が動作したか」を確認することができます。(物理的インジケータと呼ばれます。)

化学的・生物学的インジケータの結果と同様に、月日が経過したあとに「あの時の運転は正常に行われたのか?」の証明が必要な場面において、記録紙が保管されていることが、とても有効なエビデンスとなります。また、化学的・生物学的インジケータの判定はOKかNGのどちらかですが、記録紙にはその時の値が残りますので「いつもと形が違うグラフ」が出来ている場合があります。それは、「何かがいつもと違う」ことをと表します。チャートが残っているとサービスマンが故障内容を推察することにも役立ちます。記録紙やインクが切れると大事な記録を残し損なうことになりますのでご注意下さい。記録紙の読み方も慣れないと難しいためご不明点は弊社担当者にお声掛け下さい。

モニター上の温度表示


記録紙のチャート

出展・セミナー情報

■ **第9回日本感染管理ネットワーク学会学術集会**
会期:2021年5月14日(金)~6月13日(日)
会場:Web開催
会長:家入 裕子様(山口県立大学 看護栄養学部看護学科)
主催:一般社団法人　日本感染管理ネットワーク
ホームページ:https://www2.aeplan.co.jp/icnj2020/
※WEBサイト上の出展となります。

スマホでご覧ください!

当社ホームページ内にマセレーターをご紹介する専用ページを開設いたしました。是非スマートフォンでご覧ください。

詳しくはこちらから

ご案内

一般社団法人 日本感染管理支援協会(代表理事 土井英史先生)よりIAHCSMMセントラルサービステクニカルマニュアル第8版が発刊されました。詳細は同協会ホームページにてご確認下さい。

詳しくはこちらから

編集後記

貴重なお時間を頂き、最後までお読み下さいましてありがとうございます。

過ごしやすい季節になりましたね。最近、お香を頂いたのをきっかけにはまりました。創業400余年の老舗で購入するのですが、お線香の形状なのに花の香り以外に桃やみかん、紅茶や柚子生姜などの香りもあります。種類が豊富で好みの香りを発見する楽しみが出来ました。

これからもご意見、ご感想を皆様に頂きながら、お役に立てる情報発信を心掛けてまいります。次号もご期待ください。

サクラ精機　ICeberg編集部

サクラ精機株式会社
編集・発行:サクラ精機株式会社 感染制御事業本部
〒104-0033 東京都中央区新川1-25-12 新川フロンティアビル
ホームページ　https://www.sakurajp.com

本情報誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
ご協力お願い致します。
E-mail:iceberg@sakurajp.com

サクラニューズレター[ICeberg] アイシーバーグ
No.19　2021年5月15日発行

QRコードを読み取ると、バックナンバーをご覧いただけます。